

教育

◆子どもたちに笑顔をおいしい給食づくりを頑張っています！

多久市では、平成9年から学校給食を始め、今年度で20年が経ちます。年間180日、1日約1,600食を各学校に配送しています。調理スタッフ20人で児童生徒に栄養のバランスが取れた美味しく温かい給食づくりに励んでいます。

給食センターでは毎月、各学校の給食担当者と、メニューの確認、残菜状況とその分析、イベント関係の打合せなどを行い、児童生徒に笑顔を届けられるよう、美味しい給食の提供を目指しています。

学校給食の質の向上を図る佐賀県学校給食献立調理発表会が昨年12月に開催され、多久市のメニューが優秀賞を受賞しました。メニューは、「炒り大豆ごはん、さわらの佐賀のりソースかけ、女山大根のレモンなます、すりれんこんのあつたか汁、牛乳、みかん」と多久産の食材を使った地産地消を心がけました。今後ともメニューを工夫し、安心安全で子どもたちに喜ばれる給食づくりを頑張っていきます。



優秀賞を受賞した献立



優秀賞受賞の賞状と盾

問い合わせ 学校教育課 学務指導係 ☎75-2227

今月の論語

敏にして学を好み

下問を恥じず

悟りが良くて学を好み、高い地位にいながら、自分より下の者に問うことを恥じない。

今月の掃宅放送は、東原岸舎西溪校9年 坂本 龍生さん(西多町)です

教育長コラム

ちよっとい話



「子」を思う心に勝る「子」の心その2

その学校にはバレー部が無かったが、全日本選手に選ばれた兄をめぐらし「実業団でバレーをしたい」という目標をもっていた中学生のタケは、部活動では他の競技をし、夕食を終えると方々のママさんバレー等に参加し技術を身につけていた。学校の牛乳の残りも一手に引き受けて飲み干した。そうやって、兄も体格と技術を手に入れたからだ。

陸上大会でも選手として選ばれ高跳びをした。背面跳びでバーに当たった部位がただれているのを偶然見たが、辛さは一言も訴えず黙々と練習していた。

それだけではなく、早朝の新聞配達もした。「偉いな」と感心する私に、「運動です」と応えたが、母に尋ねたら「お金のためならしくなくていい。せめて自分のために使いなさい」と言うけれど、全額私に渡すんです」と。昼間の仕事をしながら新聞配達もしている母を見ていたからだろう。

子どもたちは、常に親を思っている。タケは、実業団に入った。

教育長 田原 優子

市民文芸

◆年をとることは日びをば追われず  
智恵を生かせる事でありたい  
川浪 信子

◆気付いたよ 気付かされたよ 今やつと  
壊された時魂は歌うと  
野崎 隆幸

◆おくやみの 情報告げる BGM  
吾娘逝きし日も聴きしメロデー  
浦野 嘉恵

◆友誘ひ 温泉旅行のバイキング  
朝から箸の欲張りてをり  
本村 則子

◆雪雲を かいくぐり 下降 続けける  
機の下に ひらくは いかなふるさと  
尾形 節子

◆冬の日を 児の 漕ぐ赤い 三輪車  
富樫 明美

◆若松の 香り染みこむ 花鉢  
おおやはな

◆山茶花の 紅の一輪 日を集む  
中嶋 清子

◆大根引 育ち遅れを 残しけり  
武富 律子

◆手の届きさうなとこまで 冬の雲  
田中あつ子

◆触れもせず 買物出来る 時代です  
大谷 和

◆気楽だが 寂しさつる 老い独り  
松下 修

◆気にかかる 元氣だとしか 云わぬ母  
田代まつこ

◆仲直り 山あり谷あり これからも  
古賀ちひろ

◆これからは 悠々自適 見込めない  
田中 正春

川柳 《多久市川柳会 互選》

俳句 《互選》

短歌 《麦の芽短歌会 互選》